

2014年(平成26年)1月9日(木曜日)

物流ニッポン LOGISTICS NIPPON

怯まず、臆せず取り組む

第一貨物

▼武藤幸規・第一貨物社長(山形市)
昨年は燃料価格の高騰や

ドライバーをはじめ雇用確保など相変わらず厳しい年であった。反面、新政権による大規模な金融緩和策など諸政策により、景況は



徐々にデフレ解消に向け動き出した年だった。

こうした中、我々の運輸業界は人手不足下での物量増という局面となった。本

年も4月の消費増税による一時的な物量増加が後押しし、3月までは一段とその傾向をたどるものと予測される。

いずれにしても2013年度の下期に入り状況は明らかに好転し始めている。雇用の確保難や外注費の増加、更には労働時間の延長などの課題は残っているものの、業績は社員の努力が実を結びつつある。

今後も数多くの課題や困難な事態に見舞われるとは思いますが、怯まず、臆せずに取り組み、いずれそのことが勝利に結びつくことと信じ、力を尽くしていく。